

# 募集要項



---

第 19 回模擬国連会議関西大会



# 目次

---

1. ご挨拶
2. 大会コンセプト
3. 大会概要
4. 会議詳細
5. お申し込み方法に関して
6. お問い合わせ先
7. 事務局員紹介

## 1. ご挨拶

---

本年第 19 回大会を開催できますのは、ひとえに皆様の温かいご支援、ご愛顧の賜物であり、この場を借りてお礼申し上げます。

さて、模擬国連とは、一人一人が各国の大使を担当し、国際会議を模擬する活動のことです。起源は戦前にも遡るとされ、現在日本では大学生を中心に活動の輪が広がっています。

この活動は実際に、過去に起こった出来事や現在実際に起こっている多国間外交を体験することで、国際政治や国際問題への理解を深めることができます。ただし、単にディベートのように相手を論破するだけではなく、国際社会での評価や外交関係、国内政策、世論など様々な要素を考慮しながら、他国をひきつけ味方にしたり、自分や相手との妥協点を探ったりするなど、様々な駆け引きを行います。

近年では、国際問題にとどまらず、多様な議題を用いて会議が開催されており、さらに活動の幅が広がっています。また、そうした中で関西の地で当大会を開催することは、さらなる模擬国連の普及と発展に貢献すると期待しております。

第 19 回大会では参加者の皆様に様々な模擬国連の楽しさ、奥深さを感じていただけるよう、大学生に向けて、7つの日本語会議を提供致します。

これからも関西大会は、さらなる高みを目指すとともに、模擬国連の普及と発展に寄与してまいります。今後とも本活動並びに本大会へのご理解とご支援、そしてご参加を賜りますよう、お願いを申し上げます。

第 19 回模擬国連会議関西大会  
事務総長（運営代表）

立命館大学産業社会学部 3 年生  
日本模擬国連京都研究会所属  
白須 理紗子



## 2. 大会コンセプト

「春から模擬国連活動を始めた、または数年続けているが、まだその実態がわからない。」

「もっと模擬国連活動の深みを知りたい。」

「どこか挑戦する機会が欲しい。」

皆さんは何を求めて模擬国連の世界に飛び込み、なぜ模擬国連を続けているのでしょうか？

第19回模擬国連会議関西大会のコンセプトは以下のようなコンセプトを掲げています。

## Bon voyage!!

Bon voyage とは旅立つものに対する「よい旅を！」という意味をもつフランス語の挨拶です。

神戸の地で、大学生にとって大事な夏休みという時期に、全国の学生が一堂に会して真剣に議論する貴重な機会に模擬国連に取り組んでみませんか？

第19回模擬国連会議関西大会は、模擬国連をはじめた皆さん、または続けている皆さんに、大きな模擬国連の機会を提供致します。

皆さんにとって、関西大会で一度模擬国連と向き合うことが、次を見据える「きっかけ」になることを願っています。

## 3. 大会概要

名称：第19回模擬国連会議関西大会

主催：日本模擬国連

運営：第19回模擬国連会議関西大会運営事務局

後援：外務省、日本WHO協会、NPO法人HANDS

日時：2019年8月26日(月)～28日(水)

会場：神戸国際会議場 神戸ポートピアホテル

定員：190名程度

費用：14,000円(会議参加費)

18,000円(基本宿泊費)

**※お支払いは上記併せて32,000円をお振込みください。**

また、前後泊やお弁当の手配を申し込まれる方は、併せてお振込ください。

応募：HPに記載されている参加応募フォームよりご応募ください。

※今年度は高校生の参加はご遠慮いただいております。ご了承ください。

※詳しい申し込み方法に関しては「5. お申し込み方法に関して」をご参照ください。

※勉強会に関して、例年は大会事務局が主催して行っておりましたが、今年度は主催致しません。参加会議確定後、各会議より勉強会の有無や日程について連絡がありますので、そちらをご確認ください。



## 4. 会議詳細

---



# 湾岸危機



議題：湾岸危機

議場：アラブ連盟 緊急首脳会談 第8回緊急会合  
(1990年8月9日～1990年8月10日)

募集人数：21人

会議監督：飯田紗永(獨協大学3年)

議長：田中万葉(早稲田大学3年)

秘書官：市原佳奈(名古屋外国語大学4年)

山本明佳(上智大学3年)

小野田健生(京都大学2年)

秘書官：脇亮介(上智大学3年)

使用言語：日/日/日

## 議題解説

「バアス党の戦士よ。堅固なるすみかのライオンよ。輝かしき勝利のために前進せよ！」(フセイン政権イラク国歌「二つの大河の大地」)

8月2日早朝、灼熱のクウェート。バカンスでもぬけの空になった富豪の街に、獅子の大群が襲いかかった。“経済戦争”を仕掛けられた獅子は腹を空かせていたのだ。

しかし、現代国際社会がそれを容認するはずがなかった。20世紀も終わろうという頃、主権国家に対する侵攻が行われたという事実は世界を驚かせた。

次々と決議を採択していく安保理。立場を固めた欧州共同体。アラブ連盟は選択を迫られていた。数日前の外相会合でも意見は二分されていたのだ。

刻々と変わりゆく情勢。イラクに併合されるクウェート。

介入を決定する米国。警戒するイスラエル。

そんな不穏な雲行きの中、アラブ連盟緊急首脳会談が幕を開けようとしていた――。



# 欧州共通庇護制度改革



議題：欧州共通庇護制度改革

議場：EU 理事会(内務・司法理事会)

募集人数：20 人(10 カ国)

会議監督：新子泰平(関西学院大学 3 年)

議長：田中美音(大阪大学 3 年)

秘書官：藤川正志(京都大学大学院 2 年)

武部文香(東京学芸大学 4 年)

報道官：吉松紗恵子(神戸大学大学院 2 年)

使用言語：指定なし/指定なし/日本語

但し参加者が理解できる表現に限る

## 議題解説

本会議は欧州共通庇護体制(Common European Asylum System, CEAS)の形成過程を、EU 理事会の議論過程をシミュレーションすることを通して、考察していくものである。特に CEAS の中核と言えるダブリン体制に焦点を当てるものである。

ダブリン体制とは、いずれかの EU 加盟国に申し立てられた難民申請およびその他の保護審査の審査責任国を決定する仕組みである。これはこれまでに 2 度の改訂が行われてきた。しかし、2015 年の欧州難民危機の結果、ダブリンシステムは崩壊し、新たなシステムを策定する必要が生まれた。欧州委員会の提案を元にダブリン規則IVの策定を目指す。



# 領海幅員、資源管轄権並びに国際海峡の問題



議題：領海幅員、資源管轄権並びに国際海峡の問題

議場：第3次国連海洋法会議 第3会期  
(1975年6月)

募集人数：約30人

会議監督：吉村倫太郎(京都大学3年)

議長：橋本幸樹(神戸市立外国語大学3年)

秘書官：松倉潤(同志社大学大学院2年)

馬場加奈(上智大学3年)

報道官：和泉沙音(成蹊大学3年)

使用言語：日/日/日

## 議題解説

海、それは、大昔人類共通の資源だと考えられてきた。

しかし、それらは次第に支配されるようになり、支配権がどこまで及ぶのか、またその内容はどのようなものかについて検討されるようになった。そこでそうした内容を規定するために整えられたのが、海洋法である。

海洋法は、主に三度の海洋法会議によって形成されて今に至る。第一次・第二次は、冷戦の影響を受けて、東西対立が主な対立軸となって会議が進められた。これらの会議において、多くの合意が生み出される中で、その二回を通じてもおお、領海の幅に関しては合意が得られなかった。

そして、二度の海洋法会議が進められて行く間に、技術が向上し開発能力を得たことにより、深海底の開発の問題についても海洋法という枠組みの中で議論されるようになる。

主にこれら二つの課題を抱えた国際社会は、三度目の海洋法会議を開催するに至った。この会議においては、利害の一致した東西が協力したことで、冷戦構造は消滅し、むしろ発展途上国並びに新興国が力をつけ、南北対立へと対立構造が変化したのである。今まで力の差で抑圧されてきた発展途上国や新興国が、先進国に対抗できるようになったのである。

これらのように、対立構造が変化した複雑な環境の中で、参加者の皆さんには、二度の海洋法会議を経ても解決されなかった、領海の幅の問題とそれに付随する資源管轄権と国際海峡の問題を取り扱ってもらう。

# 侵略の定義



## 議題解説

「侵略の定義」の問題に関する会議とはその言葉通り、何が国際法上の「侵略」にあたるかについて定義を行い、議論を行う会議です。侵略の定義自体は、1933年の軍縮会議で議題とされて以降、幾度となく、その定義を目指して特別委員会が設置されました。しかし、その度に最終的な結論は出ませんでした。そして、この延長線上で4回目の試みとして1967年、ソ連の提案によって作られたのが今回の対象となる特別委員会でした。68年に作られたこの委員会は、74年まで審議を重ねて一つの結論を得ました。これが総会でも審議された結果、決議の形となったのが、国連総会における決議3314です。

この定義にあたって、議論のメインとなったポイントとしては以下のようなものがあります。

### 1. この定義自体の価値

1つ目はこの定義自体の価値です。前述の通りですが、3回の特別委員会は十分な結果を出すことができませんでした。ここからもわかるように、

議題：侵略の定義

議場：侵略の定義問題特別委員会 第6会期  
(1973年)

募集人数：20～30人

会議監督：秋元悠也(東京大学3年)

松本悠久(神戸市外国語大学3年)

副会議監督：吉本絢(東京大学2年)

議長：松本悠久(神戸市外国語大学3年)

秘書官：芳賀朋恵(お茶の水女子大学3年)

山田詩織(神戸市外国語大学2年)

報道官：蓮生ジュリアン優希(関西大学4年)

使用言語：日/日/日

各国委員の定義確定に対するモチベーションに差があります。この定義を国連として確定するためには、策定された定義がどのような意義を持ち、今後の国際社会でどのような地位を占めるかということを明確にすることが求められました。具体例としての意義としては、侵略行為の確定から実行力ある措置までの時間が短縮されること、被侵略者を救いやすくなること、侵略行為に対する抑止力が期待されることが挙げられます。

### 2. 安保理の裁量との兼ね合い

2つ目は、1つ目で記した、侵略の定義がどのような地位を占めるかという問題と関連しますが、安保理の裁量との兼ね合いです。従来、何が侵略行為であるかを決定する権限は安全保障理事会が独占していました。そして、この権限は安保理が中心として支える集団安全保障体制にとって一つの入り口、根幹となる権限でした。そのため、安全保障理事会の常任理事国をはじめとして、侵略の定義の策定にあたっては国連憲章そのものの改定が必要という声さえ上がったほどでした。このよ



うにどのような定義になるか、そしてその定義がどのように運用されるかということは安保理との関連で大きな問題となったことは間違いないことでした。

### 3. 何が侵略行為にあたるのか

3 つ目は、何が侵略行為にあたるのかという問題です。最終的に史実で採択された国連決議 3314 を見ると、その第 3 項においてどのような行為が侵略行為にあたるかについて a～g まで列挙されています。このように列挙事項的に侵略行為に該当するものを上げていく中で、いくつかの事項については対立が見られました。具体的には、古典的な侵略（武力攻撃、武力侵入、爆撃など）ではない形での攻撃がそのような侵略に当てはまるかという点などが主要な対立点となりました。

ここでは主要な対立点をあげましたが、これ以外にも、侵略行為の主体として国家以外にどのような主体が想定されるか、民族自決権と侵略行為にはどのような関連性があるかなどが争点として挙げられました。これらを議論することで、「侵略」とは何であるのかを策定し、従来の国際社会における法的な秩序に新しい柱を打ち立てようというのが本会議の概要です。



# デジタル時代におけるプライバシーの権利



議題：デジタル時代におけるプライバシーの権利

議場：国連総会第3委員会 第73会期

(2018年12月)

募集人数：1議場12人 合計24人

(別々の2議場を用意致します)

会議監督：荒井ひかり(上智大学2年)

副会議監督：二木浩司(東京大学3年)

議長：矢島壮(早稲田大学3年)

伊藤駿介(明治大学2年)

秘書官：遠藤礼菜(明治学院大学2年)

佐藤亜美(早稲田大学2年)

使用言語：日/日/日(動詞のみ英語)

## 議題解説

「2007年」

この年、世界は大きく変化しました。いつでもどこでもインターネットに接続できるプラットフォーム——アップルによる世界初のスマートフォン、iPhoneの発売です。現在では、インターネット環境があることは当たり前と化し、それがなければ仕事も生活も考えられないほどになっていますが、その当たり前を得られるようになってから、実はそれほど時間は経っていません。

技術の進歩は目まぐるしく、世界のあらゆるものが急速にデジタル化されています。0と1の羅列で表現された情報は一見無味乾燥ですが、解析の対象とされれば企業に利益をもたらす、政府に危険人物のリストを与えることとなります。その解析は国内にとどまらず、国境を超えて国家・企業・個人に行き渡ります。しかし、そうしたデータの収集と解析は、無制限・無秩序になされてよいのでしょうか？

これは遠いところの話ではありません。皆さんがLINEを使えば、どんなスタンプが使われている

か、といった情報が日々会社へ送信されています。買い物をすればポイントカードにいくらかの還元が入りますが、その対価は何を買ったか、というあなたの個人情報です。YouTubeで動画を見ればそのデータは収集され、街を歩けば監視カメラがあなたの顔を認識しています。こうしたデータを保護するためのもの——それが、プライバシーの権利です。

19世紀の終わりにアメリカで誕生した”Right to Privacy”は、「文明人によって最も高く評価された権利」とも言われています。この背景には、文明を破壊したナチス・ドイツが情報監視によってユダヤ人を見つけ出し、パンチカードを使ってデータとして管理していた悲劇があります。現在109か国でプライバシーの権利を確保する立法がなされており、権利確保の取り組みはゆっくりと、しかし着実に進んできています。ですが、技術の進歩は法の発達をはるかに追いついており、スノーデン・ショックやGAFによるデータ独占など、少し振り返ればこのデジタル社会におけるプライバシーの問題は山積しています。



デジタル化が進む現代において、「プライバシーの権利」が意味する内容やその保障する対象はどこまで及ぶのか。そしてそのプライバシーの権利の原則に対して、国家によるプライバシーの制限はどの程度認められ、企業による個人データの収集はどこまで可能なのか。

20世紀は石油の世紀であったが、21世紀はデータの世紀となる。——この予言が的中するならば、「プライバシーの権利」を国際社会で確立することこそが今世紀の世界の平和と発展を支えることになるでしょう。

人々のプライバシーは、そして私たちの未来は、一国の大使であるあなたの手ゆだねられます。

# コソボ情勢



議題：コソボ情勢

議場：安全保障理事会/北大西洋常設理事会/他  
(1998年12月～1999年6月)

募集人数：37人

会議監督：山本恒太(同志社大学4年)

副会議監督兼安全保障理事会会議統括  
：宋拓樹(京都大学4年)

副会議監督兼ユーゴスラビア代表

：世古口紘明(同志社大学大学院1年)

会議顧問：児玉大河(慶応義塾大学3年)

NATO 会議統括：埋橋光(同志社大学4年)

安全保障理事会議長：土屋遥奈(上智大学3年)

安全保障理事会秘書官：中澤理央(法政大学4年)

NATO 議長(事務総長)：富士谷莉緒(早稲田大学3年)

NATO 秘書官：嘉藤美里(青山学院大学3年)

KLA 代表：山田亜実(お茶の水女子大学3年)

使用言語：日・自国語/日/日

## 議題解説

1998年2月、ユーゴスラヴィア連邦内の自治区であるコソボにて独立を目指すアルバニア人組織(KLA)と鎮圧しようとするセルビア当局との間で戦闘が発生し、泥沼の紛争へと突入しました。これに対し国際社会は安全保障理事会、NATO(北大西洋条約機構)、コンタクトグループ(大国による和平調整グループ)、OSCE(欧州安全保障協力機構)といったアクターを通じて解決を図ろうとしていました。会議はそんな紛争の最中、1998年12月、同年10月に結ばれた停戦合意をKLAが破棄し、戦闘を再開したところから始まります。

武力攻撃の是非で揉める安全保障理事会、武力攻撃の正当性や規模で悩むNATOと、早急な和平実

現に向けて動くコンタクトグループ、それぞれの議場で激しい駆け引きが繰り返されます。

また各議場による議論推移や決定が相互作用し、情勢が動いていくのも当会議の特徴です。



# 文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約



議題：文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約

議場：国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）  
第3回政府間委員会

（2005年5月25日～2005年6月3日）

募集人数：13～17人

会議監督：小森絵里花（大阪大学3年）

議長：岡島慶太（中央大学3年）

秘書官：砂子竜太（神戸市外国語大学3年）

秘書官兼報道官：久保明日香（東京大学4年）

使用言語：日・英・自国語/日/日

## 議題解説

2005年に国際連合教育科学文化機関（UNESCO）の総会で採択された、「文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約（文化多様性条約）」と呼ばれる多国間条約の作成を模擬します。この条約は、その名の通り文化的表現の多様性を保護・促進するためのもので、一見異論の余地のない条約に思うかもしれませんが、しかし実は貿易に関して深刻な対立があります。文化産業で圧倒的に強い立場にあり、貿易の自由化を推し進めたいアメリカと、文化財の輸入による自国文化産業の衰退を脅威とする欧州諸国との間の、終わりなき議論の果てにこの条約が起草されました。

対立の背景には、戦後自由貿易を拡大するために結ばれた関税及び貿易に関する一般協定（GATT）の、多角的貿易交渉（ウルグアイ・ラウンド）の場で、もともとは例外扱いだったオーディオ・ビジュアル製品にも貿易自由化が求められたことがあります。そこでは妥協が図られましたが、交渉の結果成立した世界貿易機関（WTO）で今後もオーディオ・ビジュアル製品の自由化交渉が続くことが十分に予想されました。貿易規制派の欧州諸国は、経済的観点を重視して議論を進めるWTOで

はなく、文化振興を担うUNESCOで新たな条約を作り、自国の文化的な財・サービスを保護、促進することを目指しました。もちろんアメリカを始めとする自由化を求める国々からは強い反発がありました。

こうして起草された文化多様性条約ですが、貿易をめぐる論争だけでなく、人権や開発の分野における攻防もありました。文化産業が弱い途上国は、途上国の芸術家や文化の専門家、文化を担う者、並びに文化的な財やサービスが特惠待遇を得られるように人権の側面からアプローチしました。また、文化振興と経済発展を結びつけてグローバル化に立ち向かう開発の側面を重視して、文化産業が強い先進国との間の不平等を解消しようとしてきました。その過程で自国の移民政策への影響を懸念した国々と、特惠待遇のあり方を巡って対立する場面がありました。

投票に際して、史実ではUNESCOの慣行であるコンセンサス採択に至らず、3分の2の賛成多数で条約が採択されました。文化的な財・サービスの貿易における自由派と規制派の対立、文化と開発を結びつける野心。さまざまな思惑が交錯する



中、この条約の完成に向けて各国は国益をかけた  
激論を繰り広げることとなります。



## 5. お申し込みに関して

お申し込みの流れ (日程表記は一次募集で申し込まれた場合)

### ①大会参加申し込み (フォーム記入)

5/14 0:00～6/4 23:59

参加会議の決定 / 通知

6/11

### ②参加費の振込み

6/11 ～6/28 14:59

### ③国割志望の提出

※別途フロントより案内

国割の決定 / 通知

※別途フロントより案内

関西大会

当日：8/26～28 前泊：8/25夜 後泊：8/28夜



## お申し込みの概要

---

**1 次募集** : 2019 年 5 月 14 日 0:00～6 月 4 日 23:59

**2 次募集(予定)** : 2019 年 6 月 11 日 21:00～6 月 25 日 23:59

**募集フォーム** : 公式 HP にて公開

### ▶ お申し込み方法

1. 本大会公式サイトのお申し込みページより、所定のフォームに必要事項をご記入ください。
2. お申し込み後、こちらからお申し込みを確認した旨のメールを送らせていただきます。指定期間内に大会の口座に大会参加費をお振込みください。

### ▶ その他諸注意

1. 国割に関しては参加会議決定後、各会議のフロントから希望調査を行います。
2. 第 2 次申込期間中に定員に達しなかった場合の対応につきましては、本大会公式 HP・Facebook・Twitter などにてお知らせ致します。
3. 本大会ではキャンセル待ち制度は行いません。しかし、参加者のキャンセルが発生した場合に、一定期間を設け、臨時参加者募集を行います。
4. JMUN が主催する過去の全国大会において、参加費の未納があり、本大会の第 1 次申し込み期間開始前日 (5/13) までに支払いが済んでいない場合、本大会へのご参加をお断りさせていただきます。  
あらかじめご了承ください。



## 大会参加に関わる費用について

本大会の参加費（①会議参加費＋②基本宿泊費）は32,000円です。

また、③前後泊や、④お弁当の手配等のオプションを申し込まれる方は、オプション費（③＋④）も合わせてお振込ください。

### 【大会参加費（①会議参加費＋②基本宿泊費）】

①会議参加費	14,000円	模擬国連会議への参加料金(会場代等の大会運営費に充当)
②基本宿泊費	18,000円	8/26,27のポートピアホテル宿泊費(9,000円×2泊,実費のみ)
大会参加費(合計)	32,000円	①会議参加費＋②基本宿泊費の合計

### 【オプション費（③前後宿泊費＋④お弁当代）】

③前後宿泊費	0~18,000円	8/25,28のポートピアホテル宿泊費(9,000円×0~2泊,実費のみ)
④お弁当代	0~2,600円	大会期間中のお弁当代(実費のみ)

※【前後宿泊】希望される方に大会運営事務局が前泊・後泊の手配を致します。お申込みは参加申込時に併せて受付けておりますので、参加申込受付フォームにてお申込み下さい。なお、前後泊の分割払いは受け付けておりませんのでご注意ください。なお宿泊手配の関係上、7月31日の申込み期限とさせていただきます。ただし、ホテルの部屋の空きがなくなってしまった場合、その時点で前後泊の申込受付を打ち切らせて頂きますのでご了承下さい。これら含めた最新の情報は随時本大会公式HP等でお知らせ致しますのでご参照下さい。

※【お弁当】詳細は、後述の「お弁当に関して」をご参照ください。

## お振込方法

1次募集でお申込みの方は、**6/11~6/28 14:59**までの振込期間中に、大会参加に関わる費用を合算した金額（①＋②＋③＋④）を、右記の口座まで**一括**にてお振込ください。

2次募集でお申込みの方は、お申し込みをいただいたのちに、別途、締切日をご案内させていただきます。

### お振込先

ゆうちょ銀行  
店名(店番)：四四八(よんよんはち)  
普通預金口座  
口座番号：4325153  
名義人：模擬国連会議関西大会運営事務局

※振込人名氏名欄には、必ず参加者ご本人の名前のみご入力ください。ご入力が無い場合には、参加費の確認ができない場合がございます。

※期限が過ぎてもお振込みいただけない場合は一旦申込時にご登録頂いたご連絡先にご連絡を差し上げますが、ご返事がない場合又は参加費を支払う意思がみられない場合、参加を自動的にキャンセルさせて頂く場合がございますのでご注意ください。自動キャンセルされた際は、事務局側よりその旨のメールを送信いたします。通知メールの送信後は大会に参加いただけないほか、以下のキャンセル料が発生する旨、予めご了承ください。



## キャンセル料について

参加申込み完了後にキャンセルされる場合は、本大会運営事務局 ([kmunc@kmunc.org](mailto:kmunc@kmunc.org)) までご連絡下さい。定員超過のためにご参加頂けない場合を除いて以下のキャンセル料金が発生し、返金にかかる手数料を含めご負担して頂きます。予めご了承ください。

		(6/11※1)~8/5	8/6~8/15	8/16~8/24	8/25~
大会参加費	①会議参加費 14,000円	14,000円	14,000円	14,000円	14,000円
	②基本宿泊費※2 18,000円	0円	3,600円	7,200円	18,000円
オプション費	③前後宿泊費※2 0円~18,000円	0円	1,800円/1泊	3,600円/1泊	9000円/1泊
	④お弁当代 0~2,600円	0円	個別案内※3	個別案内※3	全額
<b>キャンセル料合計</b>		<b>14,000円~</b>	<b>17,600円~</b>	<b>21,200円~</b>	<b>32,000円~</b>

※1 キャンセル料は、大会参加確定日（一次募集期間での応募は6/11,二次募集以降は別途案内）より発生致します。

※2 ②③宿泊に関連するキャンセル費用は、実費での請求となるため、実際の請求金額が上記と異なる場合があります。予めご了承ください。

※3 ④お弁当のキャンセル費用は、実費での請求となります。8/6~24のキャンセルにつきましては、受付の際に別途金額をご案内致します。

## お弁当に関して

レセプションを除く本大会期間中のお食事は大会参加費に含まれておりません。よって、予めご持参・ご購入いただくか、大会事務局にてご提案いたします以下のお弁当をお申込みください。お申込みは参加応募フォームにて受け付けます。お支払いは、参加費と併せて口座にお振込みください。

また例年との変更点として、今年度は一括希望調査となります。各日程個別でお弁当を注文する事は出来兼ねますのでご了承ください。また1日目の夜に関して、例年と違い必須ではありません。

※アレルギーのある方は参加応募フォームにてお知らせください。

※お店・メニューは予定ですので、予告なく変更する可能性がございます。予めご了承ください。

1日目夜(26日夜)	手作りクック(ミックスグリル弁当)	600円
2日目昼(27日昼)	ごっつええ弁当(テリヤキチキン・焼き肉弁当)	700円
2日目夜(27日夜)	手作りクック(黒毛和牛ミンチ弁当)	600円
3日目昼(28日昼)	ごっつええ弁当(カニ玉&一口カツ弁当)	700円
合計金額		2600円



## 6. お問い合わせ先

---

### お問い合わせ先メールアドレス

本大会に関するお問い合わせは以下のメールアドレスまでお寄せください。

[kmunc@kmunc.org](mailto:kmunc@kmunc.org)

### Facebook/Twitter

本大会公式ウェブサイト及び以下の SNS にて、各会議の詳細や大会企画、参加受付の最新情報等を提供いたします。随時更新致しますので、ご覧ください。

【Facebook】

<https://www.facebook.com/KMUNC/>

【Twitter】

<https://twitter.com/kmunc>

@KMUNC

Facebook



Twitter





## 7. 事務局員紹介

事務総長/運営代表	白須理紗子	立命館大学産業社会学部 3 年
副事務総長/運営副代表	三宅里奈	立命館大学法学部 3 年
会計/改革	奥山智司	同志社大学政策学部 4 年
総務統括	三澤祐希	立命館大学法学部 3 年
総務	久米竜樹	京都大学経済学部 4 年
総務	加藤理紗子	関西学院大学総合政策学部 4 年
総務	山本恒太	同志社大学商学部 4 年
総務	吉岡瑞希	神戸大学国際人間科学部 3 年
研究統括	辻田智基	神戸大学経営学部 4 年
渉外統括	藤田直也	神戸大学経済学部 3 年
渉外	竹下緋和莉	同志社大学法学部 2 年
渉外	和中文	同志社大学法学部 2 年
企画統括	八坂隆広	神戸大学文学部 3 年

Bon voyage!!



第19回模擬国連会議関西大会運営事務局